

平成 25 年度教職大学院派遣研修研究報告書

研修生番号	24K03	氏名	大村 幸子
研究主題 —副主題—	説明的な文章における指導の改善 —事実と意見との関係をとらえる学習指導を通して—		
所属校	江東区立明治小学校	派遣先	玉川大学教職大学院

項目	内容
I 研究の目的	<p>1 問題の所在</p> <p>今日、我が国では、情報化、国際化の急速な進展にともない、コミュニケーション能力や情報処理能力とともに、それらの活動を支える論理的思考力の育成が求められている。</p> <p>ところが、児童の実態を見ると、主体的に思考する場面が少なく、多量な情報から価値ある情報を選択し、自己の考えを形成する力が不足している。また、筋道立てて思考することにも課題があり、論理的に説明したり表現したりする力も十分とは言えない。</p> <p>こうした実態を受け、言葉そのものを扱う国語科の立場と役割が一層重視されており、とりわけ文章そのものに論理性をもつ説明的文章の学習指導に対する期待が高まっているが、一方で、説明的な文章における指導の難しさを指摘する声も根強く残る。「問い—説明—まとめ」の枠にあてはめた画一的な指導や、文章構成図で論理をとらえさせる表面的な指導など、その指導は未だ多くの課題を抱えていると言える。</p> <p>2 研究の目的</p> <p>本研究では、ますます重要視される読解力や論理的思考力の育成に向けた説明的文章指導について、新たな方向性を追究し、指導の改善に向けた学習指導の提案を行いたいと考える。</p>
II 研究の方法	<p>国語科学習指導要領や先行研究の分析を行い、改善の視点を見出すとともに、教科書教材の分析をもとに、学習指導の授業構想の検討を行った。</p>
III 研究の結果	<p>1 基礎研究</p> <p>文献や先行研究の調査・分析を行い、説明的な文章における指導の目標や概要について整理した。その結果、「事実と意見との関係」を捉える学習指導に授業改善の可能性と有用性があることが見えてきた。</p> <p>「事実と意見との関係」をとらえることは、昭和 33 年版以降の国語科学習指導要領において毎回明記されている指導事項であり、これまで多くの研究者によってその重要性が指摘されていることが分かった。「事実と意見との関係」をとらえる読みは、正確で豊かな読みの成立という点からも、論理的思考力の育成という点からも有効であると言える。</p> <p>2 説明的文章（教材）の分析</p> <p>具体的な学習指導を検討するために、現行の教科書教材にある説明的な文章における教材（5 社 80 教材）について、「事実と意見との関係」に着目して分析を行った。</p>

説明的文章（教材）の分析より次のことが明らかとなった。

（１）教科書教材における文章構成の型

説明的な文章の構成は多種多様であり、「問い—説明—まとめ」の読解指導には限界があること、文章の導入部分の指導が重要であることが分かった。

（２）事実の挙げ方の五つの類型

内容や意見に対して、筆者が、どのように事実を挙げているかという観点で分析すると、表１の五つに類型化できることが分かった。

事実の挙げ方	特徴		5つの論理
やじるし型	順序	手順や成長過程を説明するために、個々の事象を、規則性や法則性に基づいた順序に沿って説明する型	順序
リスト型	箇条書き	ある内容や意見について、具体的な事実をいくつか挙げることで、よりわかりやすく説明する型	一般⇔具体 全体⇔部分
くらべる型	対比	2つの事例を取り上げ、項目ごとに比較することで、より明確に説明する型	一般⇔具体 全体⇔部分
といざらし型	深化	問いに対する説明の中から、新たな問いを見出し、さらに説明を重ね、より深く本質にせまっていく型	原因⇔結果
りゆう型	事実と意見	意見に対する理由や根拠として事実が述べられる型	主張⇔理由

表1 事実の挙げ方五つの型と論理的思考力

（３）五つの論理

説明的文章の読解に働く思考力と前項の五つの型を関係付け、類型別に文章に見られる論理を明らかにした（表1参照）。

3 学習指導の構想

教材分析の結果を基に、事実と意見との関係に着目した読解においては、図1の関係を指導することが重要であると考え、学習指導案を作成し、第6学年の「ぼくの世界、きみの世界（教育出版）」において、検証授業を行った。

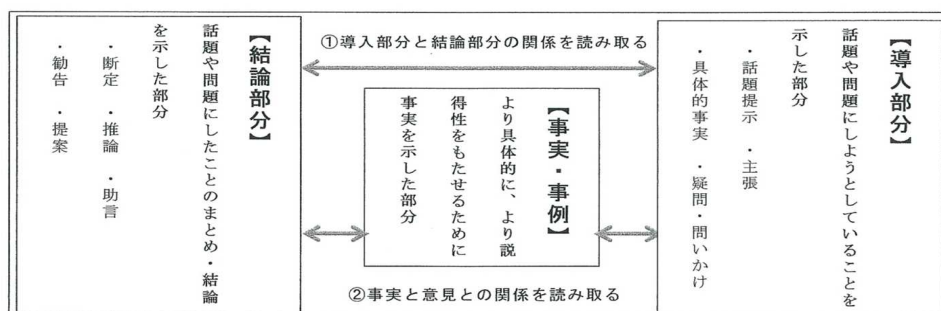


図1 説明的文章指導における二つの読解過程

IV 考察

本研究において取り上げた「事実と意見との関係」に着目した学習指導は、形式と内容を併せもつ指導が可能であること、児童の主体性に即した読みが成立することなどから、読解力や論理的思考力の育成に効果的であると言える。また、指導者が事実と意見との関係に着目した視点に沿って教材分析を行うことにより、より豊かで幅広い学習指導の展開が可能であると期待する。今後は、説明的文章の読解指導として考案した事実と意見との関係に着目した学習指導及び論理的思考を、自分の考えを相手に伝えるなどの論理的表現力の育成に発展させ、その学習指導の展開について研究を進めていきたいと考える。

